

シラバス確認

シラバス入力 > シラバス確認

印刷する

更新

開講年度 Academic year	2026年度		
講義コード Course title (Japanese)	0L6085201		
講義名 Course title (Japanese)	環境心理学		
英文講義名 Course title (English)	Environmental Psychology		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester (s)	前期	講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour (s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日	時限 Period	2時限
校地 Campus	大行寺キャンパス		

所属名称	ナンバリングコード
	P1-EXP205LJ

担当教員 Lecturer (s)			
職種 (専任教員・非常勤教員) Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer (s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 平田 乃美		発達科学科心理学専攻

授業の内容 (主題) Course description	環境心理学は、心理学の諸理論及び心理学の領域で発展してきた測定手法を生かして、環境と人間行動との関わりを明らかにしようとする学際的な研究領域です。この領域では、人間の行動に効果をもつ「環境」について、個々の要因分析とともに、全体としての効果やその文脈が検討されます。本授業では、人間-環境の相互作用から生じる人間の知覚・認知・行動の特性と背景を学び、それらの知見を生活空間の改善や景観のデザインに応用するための環境心理学的視点・手法について考えます
到達目標 Course objectives	1) 人間-環境の相互作用の視点から、人間の知覚・認知・行動の特性と背景を理解する 2) 心理学領域で発展してきた環境の測定・評価の手法について協働・体験学習を含めて学ぶ 3) 1), 2) を生活空間の改善やデザインに応用するための環境心理学的視点をもつ
ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy	
◎ : 非常に強く関連する ○ : 強く関連する △ : 関連する 空欄 : 該当しない	

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	○
②激変する国際社会の中にあつて、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	○
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	△
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	○

授業計画表
Course plan

回 Class sessions	内容 Topics
第1回	受講案内 予習(90分)：シラバスを読み環境心理学について調べる 復習(90分)：講義を振り返り学んだことや疑問点等をまとめる
第2回	研究史：環境心理学の成立 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：当該領域の成立過程と時代背景を確認する
第3回	環境心理学の諸相 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：当該領域の諸相と問題をまとめる
第4回	感覚・知覚の基礎知識 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：ヒトの感覚と知覚の特性について確認する
第5回	視覚の特性 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：ヒトの視覚の特性について確認する
第6回	<体験学習>環境の経験：閉眼歩行 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：グループごとに実施結果を話し合い報告書を作成する
第7回	環境認知と記憶、目撃者証言 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：ヒトの記憶の特性について確認する
第8回	環境の測定と評価 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：環境測定・評価の手法について確認する
第9回	SD法による景観評価 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：SD法の手続きと活用法について確認する
第10回	<体験学習>タイトスペース 予習(90分)：指示された場所の図を作成する 復習(90分)：作成した図を分析して解説書を作成する
第11回	<体験学習>錯視体験 予習(90分)：指定された資料を閲覧して当該課題について調べる 復習(90分)：グループごとに実施結果を話し合い報告書を作成する
第12回	<体験学習>環境の経験：音のサブリミナル 予習(90分)：指定サイトで音源を聞き当該課題について調べる 復習(90分)：実施内容を踏まえて聴覚の特性を確認する
第13回	<体験学習>環境の経験：パーソナルスペース 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：グループごとに実施結果を話し合い報告書を作成する
第14回	色彩心理学 予習(90分)：色の基本知識について調べる 復習(90分)：色彩の心理的・生理的効果について確認する
第15回	環境美学 予習(90分)：配布資料を読み当該課題について調べる 復習(90分)：美しさの評価について学んだことや疑問点等をまとめる

授業計画コメント
Course outline

<体験学習>について
天候・学校行事等の事情で教室や順序が変更される場合があります

	一部はグループ・ワーク形式ですが、報告書は毎回各自が作成・提出します 課題内のグループ・ディスカッションも評価対象となります					
授業の進め方 Session plan	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業の場合は、講義形式と体験学習の授業である ・課題によってはスマートフォンを使用することがある。所持しない学生については、相談の上、不利益のないよう対応する ・体験学習では、天候や行事など諸事情で教室や順序が変更される場合がある ・体験学習はグループ・ワーク形式で行う場合があるが、報告書は毎回各自が作成・提出する ・課題内のグループ・ディスカッションも評価対象とする 					
アクティブラーニング Active learning	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業の場合は、体験学習を行う。体験学習では、グループ・ワークやディスカッションなど、アクティブラーニングの手法を取り入れた授業形態で実施する 					
実務経験を活かした授業内容 Course contents based on related work experiences	該当しない					
授業時間外の学修（予習・復習等） Preparation and review outside classroom hours	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布された講義資料について、下調べを行ってから授業に臨むこと ・体験学習では、授業時に指示される授業Webサイトを参照して、課題を行うこと ・学習内容の疑問や意見は、直接あるいは授業Webサイトなどで教員に伝えること 					
教科書等 Textbooks and materials						
	タイトル Title	著者名 Author (s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	朝倉心理学講座12 環境心理学	佐古順彦・小西啓史編	朝倉書店	2007	¥3,672	ISBN-10: 4254526725
2						
3						
4						
5						
(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions	使用しない 前項目に記載された図書は参考図書であるため、必ず購入すべきものではない					
参考図書 Reference book (s)	上記記載					
成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria						
	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude		
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	60%	40%		
成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末レポートと毎回の課題および受講態度の合計点による絶対評価を原則とするが、S評価の比率は成績上位5%程度とする 					
課題のフィードバック Feedback	<ul style="list-style-type: none"> ・授業Webサイトおよび課題を通じて寄せられた疑問や意見について、翌週以降の授業時に解説を行う 					
学生へのメッセージ（履修上の心得） Message to students (class guidelines)	<p>[出席について] 出席確認はカード型端末機のみで行い、学生証不携帯は欠席扱いとなります</p> <p>[課題について] 実施時間に提出した場合のみ、成績評価対象とします。未提出への対応策はありません</p> <p>[成績について] 評価基準の個別対応は一切ありません 個別の結果について、成績発表前の問い合わせには返答できません。評価内容についても、成績調査期間外に調べることはできません</p> <p>[資料について] 講義資料のスライド（動画、写真等）を複製してお譲りすることはお断りしています。再度確認したい資料がある場合は、授業終了後、機器の電源を切る前に声を掛けてください</p>					

科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites	認定心理士資格申請区分：「選択科目」（社会心理学・産業心理学）
オフィスアワー/学生からの連絡方法 Office hours/Contact Information	オフィスアワー：金曜1限 連絡方法：WebClassメッセージ
公開 E-Mail E-mail address	hirata@fc.hakuoh.ac.jp
キーワード Keyword(s)	人間と環境, 環境認知, 感覚と知覚, 記憶, 色彩心理学, 環境美学
備考 Other(s)	認定心理士資格申請対象科目である【入学年度の「教員免許状および資格取得の手引き（認定心理士関係科目区分表）」参照】

[ページの先頭へ](#)

[閉じる](#)